



防災のとびら

東日本大震災から
8年9か月

石巻市立広瀬小学校防災だより 文責：佐竹
令和元年12月10日 No.23

自分にできることを！



12月5日（木）に、赤十字社指導員の方を招いて5年生が救急救命講習を実施しました。救急救命講習は、SPS「生活安全」の一環として、毎年5年生を対象に行っています。主に、心肺蘇生法や応急手当の仕方、AEDの使い方について教えていただいています。1学期は、応急手当の仕方を中心に教えていただきました。今回は困っている人に手を差し伸べる為に「自分ができることを」意識しながら、心肺蘇生法とAEDの使い方を体験しました。実際にやってみて、子供たちからは「30秒しかやってないのに疲れた！」「心臓マッサージの時間が長い！」という声が聞かれました。指導員の方に「救急車が来るまでの間、ずっとやっているんだよ」と教えてもらい、子供たちは「ええ〜！」と驚いた様子でした。熱心に訓練に取り組む姿勢を、たくさん褒めていただきました。

訓練体験していても、小学生なので実際にその場になったら気が動転してしまい、何をしてもよく分からなくなる状況になってしまいます。でも、近くの大人を呼びに行くことは小学生でもできます。指導員の方からは、「困っている人がいたら助けてあげようとする気持ちが大事」や「こんなに大変なことをして人の命を助けるのだから、自分の命は大切にしよう」という話を聞き、子供たちも人の命の大切さについて考えることができたようです。



危険はすぐそばに！！

最近のニュースでは、監禁や誘拐など SNS に関する事件が相次いで報道され、その多くに未成年の子が関わっています。これらの事件は他人事ではなく、子供たちのすぐ傍で起こっている問題です！！保護者の皆様のアンテナを高くし、お子さんに目を配っていただきたいです。危機管理を意識し、子供たちを守りましょう。

